

会 員 各 位

日 本 ば ね 学 会

会 長 中 曾 根 祐 司

**「復元力応用分科会」第 25 回講演会開催のご案内**

「復元力応用分科会」では、広い意味でのばねの役割の知見を深めることを目的として、復元力の応用分野の講演会を企画してきました。今回も第 25 回講演会を下記のとおり開催いたします。会員どなたでも無料でご参加いただけますので、是非ご検討下さい。

参加希望者は 5 月 8 日までに日本ばね学会事務局まで FAX かメールでお申込み下さい。

## 記

1. 開催日時 2018 年 5 月 18 日 (金) 13:00~16:30
2. 開催場所 東京理科大学 森戸記念館 第 1 会議室  
住所 東京都新宿区神楽坂 4-2-2 (飯田橋駅徒歩 5 分)  
電話 03-5225-1033 <https://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

## 3. スケジュール

13:00~13:05 開会挨拶 復元力応用分科会 主査 小竹 茂夫

13:05~14:05 免震ゴムのバネ設計と長期信頼性の確立

ロンドン大学クイーンメリーカレッジ 深堀 美英 殿

(内容) 建築物の全荷重を支える免震ゴムは垂直には硬いが、地震波との共振を避けるために軟らかい水平バネ剛性を持っている。一方、免震ゴムには 60 年にわたるバネ特性、破壊特性、クリープ特性の保持が求められ、演者自身が取り組んだ研究開発の実態をお話する。

14:05~14:15 休憩

14:15~15:15 磁歪材料を利用した振動発電技術の現状と将来展望

金沢大学 上野 敏幸 殿

(内容) 鉄系の磁歪材料(鉄ガリウム合金)を利用した振動発電技術について紹介する。発電デバイスは、シンプルで堅牢、高出力の特徴を有し、定常振動から日常のちょっとした動き、衝撃などから実用的な電力を取り出すことができる。応用として、IoT モジュールの電源や、将来的に大型化で波力発電や水流発電に展開できる。本講演では、この技術の現状と可能性について実演を混ぜながら解説する。デバイスのフレームは、バネ材でできており、振動に関係する様々なアイデアが生かせる。

15:15~15:25 休憩

15:25~16:25 日本の古銃におけるばねの歴史的な位置付け

堺鉄砲研究会 澤田 平 殿

(内容) 火縄銃をはじめとする日本の古銃の重要な機関部(からくり部)は、ばねとねじによって支えられている。ばね技術遺産候補に選ばれた歴史的な資料・物品を元に、日本におけるばねの歴史的な位置付けをお話する。

16:25~16:30 閉会挨拶

復元力応用分科会 幹事 村瀬 浩徳

4. 参加費 無料(会員外は 5,000 円)

日本ばね学会 宛

E-mail: [jsse@spring.or.jp](mailto:jsse@spring.or.jp) FAX (03) 3251-5258**「復元力応用分科会」第 25 回講演会 参加申込書**

参加者氏名	会社名	所属・役職	連絡先
			TEL E-Mail